

# X I . 臨床指数 (クリニカルインディケータ)

## 1. 救急センターで対応したCPA症例

### 年齢別CPA症例数

0~9		10~19		20~29		30~39		40~49		50~59		60~69		70~79		80~89		90~99		100~109		計	
男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
0	0	0	0	0	0	3	0	2	3	2	2	9	4	20	8	23	26	8	15	0	0	67	58
0		0		0		3		5		4		13		28		49		23		0		125	

### 月別CPA症例数

4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月		計			
男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
4	6	4	3	2	4	1	2	3	6	5	0	9	5	2	4	11	5	10	9	5	7	11	7	67	58		
10		7		6		3		9		5		14		6		16		19		12		18		125			

心肺蘇生により自己心拍再開した例 23例 (18.4%)  
 軽快退院 1例 (0.8%) 在院日数 34日  
 転院 3例 (2.4%) 平均在院日数 32.6日 (28日~39日)  
 死亡 19例 (15.2%) 平均生存期間 4.1日 (1日~19日)

### CPA症例のICD大分類

01) 感染症および寄生虫症	20
02) 新生物	5
04) 内分泌・栄養および代謝疾患	1
09) 循環器系の疾患	67
10) 呼吸器系の疾患	4
11) 消化器系の疾患	3
18) 症状、徴候および異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	0
19) 損傷、中毒およびその他の外因の影響	3
20) 傷病および死亡の外因	22
	125

### CPA症例の疾患別分類

感染症および寄生虫症	20	循環器系の疾患	67	呼吸器系の疾患	4
肺炎	16	心不全	9	肺胞出血	2
膿胸	1	急性冠症候群	26	ナルコーシス	1
敗血症	3	解離性大動脈瘤	10	緊張性気胸	1
新生物	5	致死性不整脈	9	消化器系の疾患	3
肺癌	1	胸部大動脈瘤破裂	5	消化管出血	1
食道癌	1	腹部大動脈瘤破裂	2	食道静脈瘤破裂	1
舌癌	1	肺塞栓症	1	絞扼性イレウス	1
多発性骨髄腫	1	低酸素脳症	1	症状、徴候および異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	0
急性白血病	1	総腸骨動脈破裂	1	ALS	0
内分泌・栄養および代謝疾患	1	脳梗塞	1	損傷、中毒およびその他の外因の影響	3
老衰	1	脳出血	1	頸髄損傷	1
		くも膜下出血	1	くも膜下出血	1
				低体温症	1
				傷病および死亡の外因	22
				窒息	11
				溺水	5
				縊頸	6
				不明	0
					125

## 2. 消化器内科

### 【内視鏡件数】

2017年	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
上部内視鏡	278	352	434	372	387	392	402	372	343	301	294	331	4,258
下部内視鏡	130	115	168	149	179	157	147	168	164	119	127	148	1,771
大腸良性EMR	31	26	35	37	44	38	38	39	37	24	32	37	418
大腸癌EMR	0	1	5	4	1	2	1	2	3	3	4	2	28
ERCP	12	27	23	25	19	13	14	16	11	13	8	25	206
ESD	1	4	2	1	4	5	6	2	2	4	3	4	38
EIS	0	4	5	2	0	0	0	0	0	1	1	1	14
その他	2	5	3	2	7	1	1	2	2	2	4	2	33

### 《肝胞癌に対する治療》

RFA : 5 例

PEIT : 1 例

TACE : 32 例

(RFA : 経皮的ラジオ波焼灼療法 PEIT : 経皮的エタノール注入療法 TACE : 肝動脈化学塞栓療法)

## 3. 血液内科

### 新規患者数

特発性血小板減少性紫斑病	11
慢性骨髄性白血病	4
急性白血病	10
悪性リンパ腫	31
慢性リンパ性白血病	1
多発性骨髄腫	10
骨髄異形成症候群	16
後天性免疫不全症候群	0
再生不良性貧血	2
造血幹細胞移植	3

#### 4. 糖尿病・代謝内科

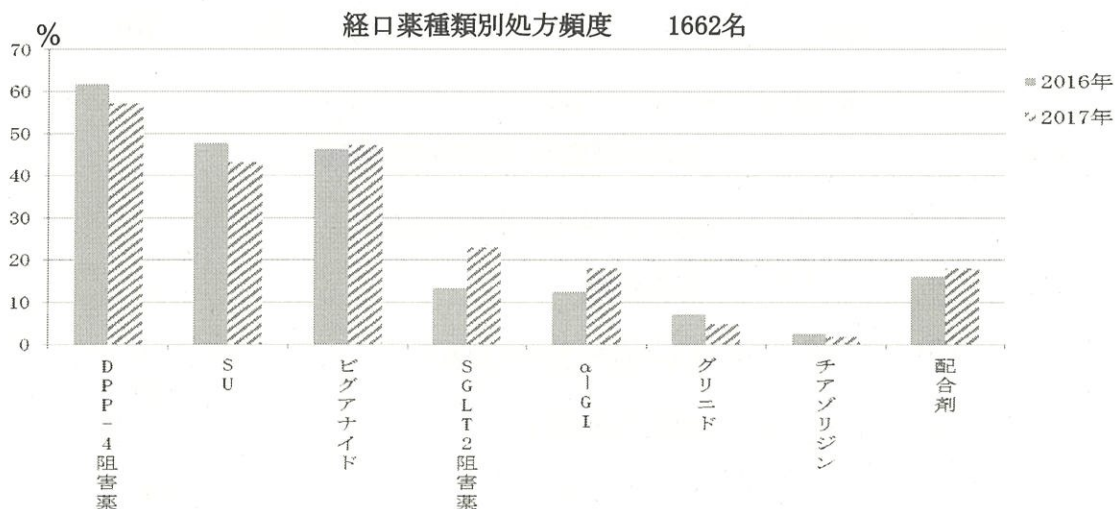
2017年6-8月 DM薬剤調べ

糖尿病内科糖尿病薬

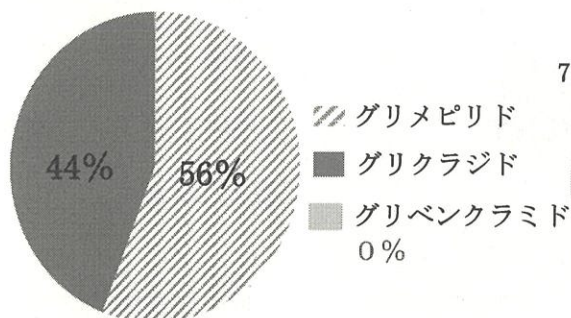
2017年6-8月 (3か月間)

患者実数1,770名

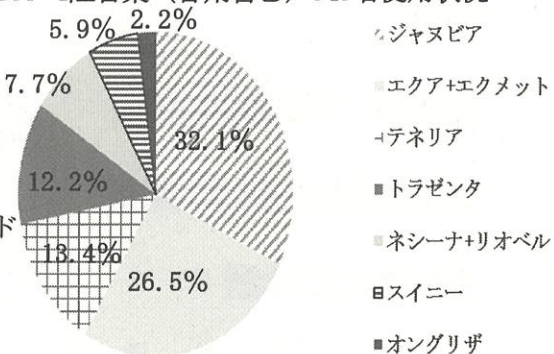
全患者数	1,853
経口薬使用患者数	1,662
経口薬のみ	1,232
経口薬+注射薬	430
注射薬使用患者数	621
注射薬のみ	191



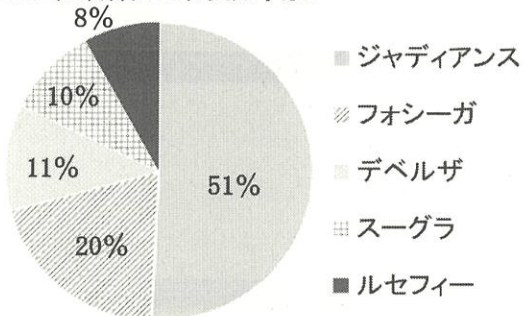
SU薬718名使用状況



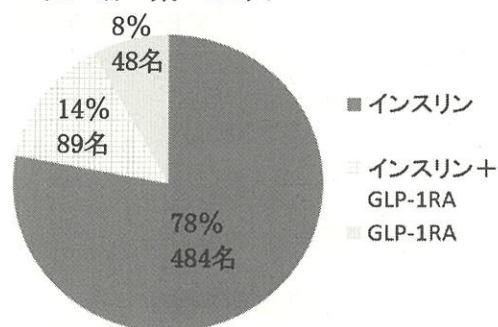
DPP-4阻害薬 (合剤含む) 949名使用状況



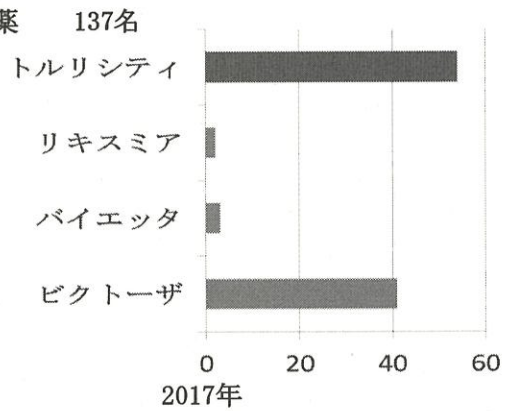
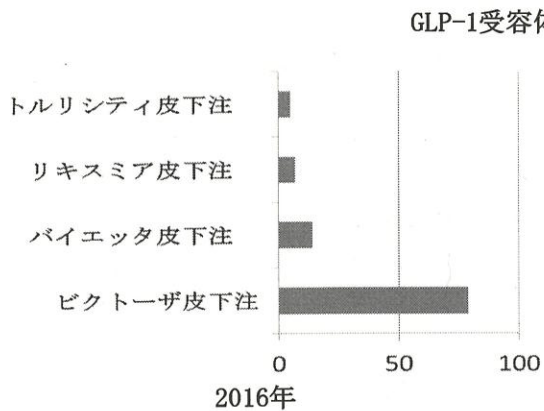
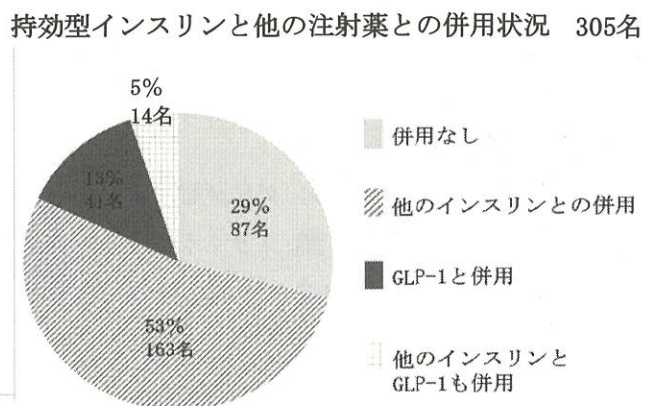
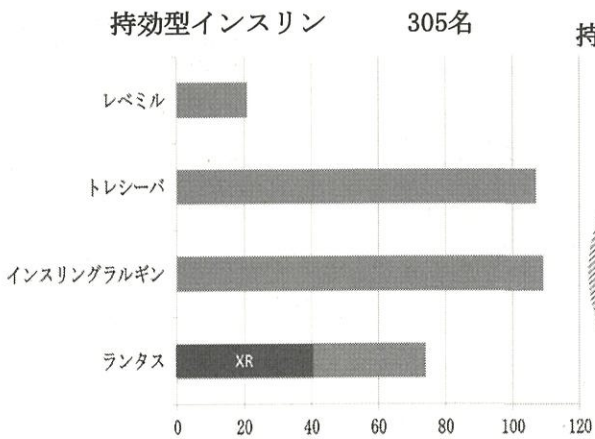
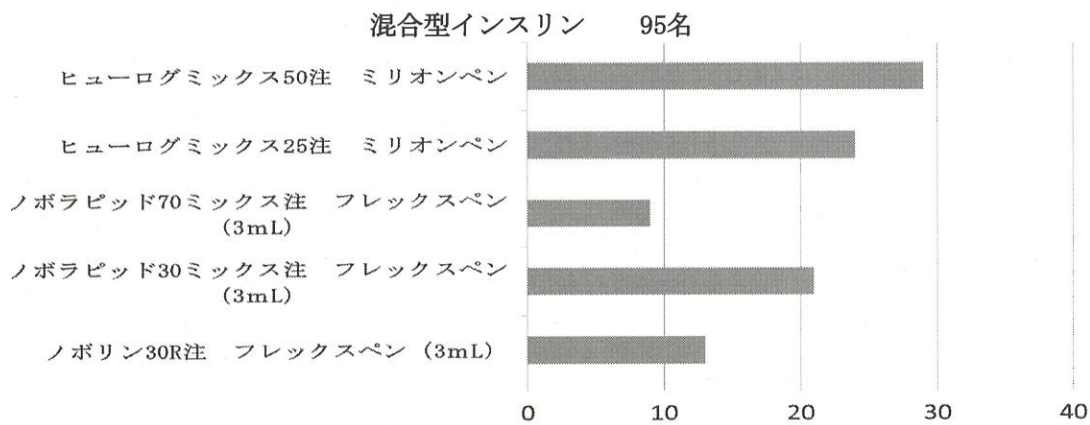
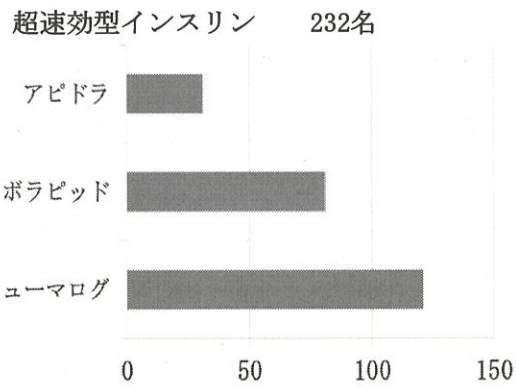
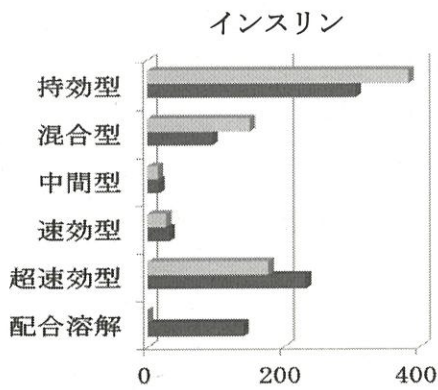
SGLT2阻害薬381名使用状況



注射薬 621人

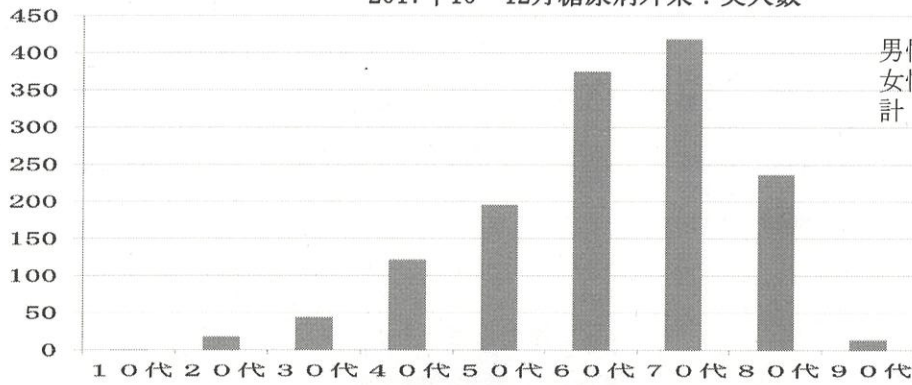






2017年10-12月糖尿病外来

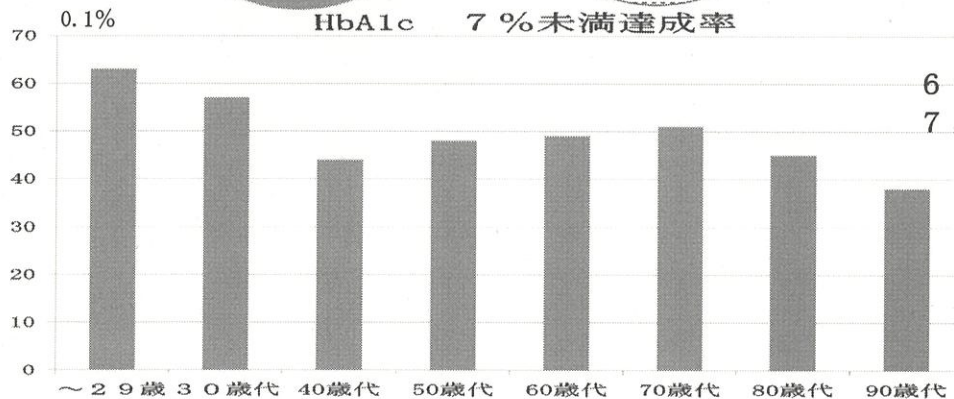
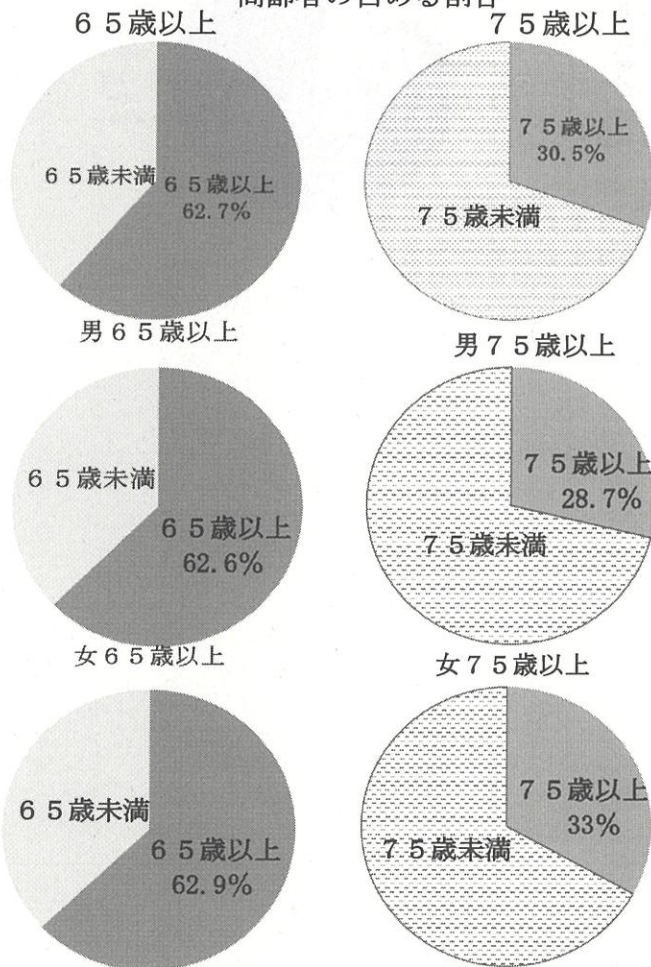
2017年10-12月糖尿病外来：実人数



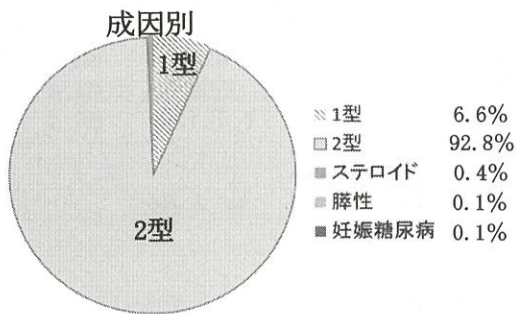
平均年齢  
 男性：856名 66.4 ± 14.5  
 女性：568名 66.4 ± 12.9  
 計：1,424名 66.4 ± 13.6

■ 人数

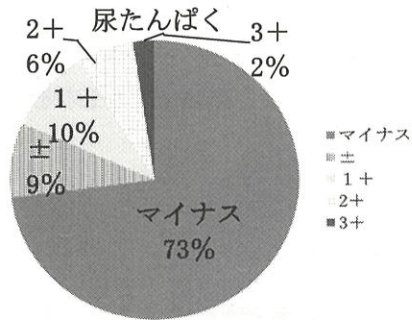
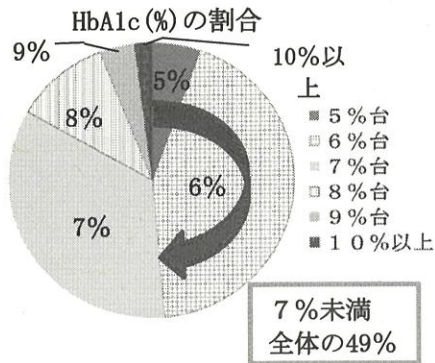
高齢者の占める割合



65歳以上 50%  
 75歳以上 49%



	人数	平均値
Tch	1,317名	179 mg/dl
TG	1,320名	153 mg/dl
HDL-C	1,318名	54 mg/dl
LDL-C	1,261名	96 mg/dl
Cre	1,339名	0.92 mg/dl



## 5. 循環器科

経皮的冠動脈インターベンション (PCI)	278 例
血管内治療 (EVT)	75 例
うち腎動脈インターベンション (PTR)	4 例
永久ペースメーカー	
新規植込み	39 例
交換	10 例
カテーテルアブレーション	145 例
下大静脈フィルター留置	9 例

## 6. 呼吸器科

肺癌 102 例	
小細胞癌	6 例
腺癌	66 例
扁平上皮癌	19 例
大細胞癌	0 例
LCNEC	2 例
非小細胞癌	1 例
腺扁平上皮癌	3 例
組織型不明	5 例
悪性胸膜中皮腫	0 例
縦隔腫瘍	4 例
縦隔癌	0 例
胸腺癌	2 例
胸腺腫	0 例
転移性肺腫瘍	8 例
原発不明癌	1 例
化学療法	44 例
外来化学療法	41 例 (導入率 93.2 %)
EGFR-TKI	9 例
放射線治療	10 例



7. 外科 2017. 1. 1~2017. 12. 31

入院患者数 763 男 446 女 317

入院手術症例数 568 予定手術 420 緊急手術 143

合併症 75 (73 症例)

感染症	26
縫合不全	6
呼吸器系	6
循環器系	7
出血	7
脳血管障害	1
腎	3
その他	27

転帰	治癒	172	転科	31	悪化	0	軽快	527
	転院	5	不変	8	死亡	14		

「死亡」の内訳

良性	5	老衰、穿孔性腹膜炎、憩室炎・腹腔内膿瘍、大動脈解離、外傷性肝損傷
悪性	9	原病死 (胆嚢癌 2、胃癌、大腸癌、肝癌 2、膵癌、乳癌 2)

平均入院日数 12.5 日

手術合併症	総数 568	合併症症例 76 例 (13.3 %)
食道	1 例	その他
胃、十二指腸	14 例	縫合不全 (4)、感染 (7)、その他
肝臓	2 例	無気肺、胸部大動脈解離
胆嚢	11 例	感染 (4)、出血 (2)、腹膜炎、肺炎、呼吸不全、深部静脈血栓症、その他
膵	7 例	膵液瘻 (2)、感染 (2)、肺炎、気胸、腸炎、その他
大腸、直腸	26 例	感染 (11)、腸閉塞 (5)、縫合不全 (2)、不整脈 (3)、肺炎 (2)、創し開 (2) 腹腔内出血、その他
虫垂炎	4 例	腹腔内膿瘍 (2)、腸炎、その他
虫垂炎(穿孔)	1 例	腸閉塞
鼠径ヘルニア	5 例	感染 (2)、出血、脳血管障害、その他
腹壁癒痕ヘルニア	1 例	出血、感染、創し開
閉鎖孔ヘルニア	1 例	出血、循環器系
その他		
リンパ節生検	1 例	リンパ漏

手術関連死亡 5 例 (0.88%)

良性	穿孔性腹膜炎	84 歳	男性	(術後 35 日)
	結腸憩室穿孔	77 歳	男性	(術後 44 日)
	外傷性肝損傷	46 歳	男性	(術後 0 日)
悪性	肝癌術後、胸部大動脈解離	86 歳	女性	(術後 2 日)
	乳癌転移、人工肛門造設後	80 歳	女性	(術後 3 日)

再手術症例 7 (1.2%)

S 状結腸癌術後縫合不全	→ ストマ造設 → ストマ閉鎖
胃癌術後	→ 内ヘルニア手術
イレウス術後	→ イレウス再発、腸切除
回腸悪性リンパ腫切除	→ 4 ヶ月後吻合部穿孔 → ストマ造設



S 状結腸癌手術、ストマ造設 → ストマ脱出 → ストマ形成術  
 Crohn 病小腸閉塞、狭窄形成術 → イレウス → 癒着剥離術  
 上行結腸虚血性腸炎、穿孔性腹膜炎 → 右半結腸切除、ストマ造設  
 → 腸閉塞、腸壊死 → 小腸切除 → 人工肛門閉鎖 → 創し開 → 創再縫合

再入院患者数 11 (1.9%)

臍ヘルニア術後創感染	→	ドレナージ
イレウス解除術	→	イレウス、保存的治療
胃癌術後	→	栄養失調 (3)
虫垂炎術後、腹腔内膿瘍	→	保存的治療 (2)
大腿ヘルニア嵌頓手術	→	イレウス、保存的治療
直腸癌術後	→	イレウス、保存的治療
横行結腸癌術後	→	イレウス、保存的治療
潰瘍性大腸炎、大腸全摘	→	イレウス、保存的治療
S 状結腸軸捻転、切除術	→	イレウス、保存的治療
腹壁癒痕ヘルニア、術後創感染	→	保存的治療
鼠径部リンパ節生検	→	リンパ漏、保存的治療

## 8. 整形外科

大腿骨頸部骨折・大腿骨転子部骨折 2017年 地域連携パスの実績

- ① 総患者数 136名 [2017年 143名]
- ② 治療方法 手術療法 135名、保存的治療 1名
- ③ 地域連携パス利用率(人数) 70.5%、96名  
[2017年 73.4%、105名]
- ④ 当院での在院日数
  - i) 全体 25.2日 (死亡3名を除く)  
[2017年 29.2日]
  - ii) 地域連携パス利用者 22.8日 [2017年 24.4日]
  - iii) 地域連携パス除外者 32.4日 (死亡3名を除く)  
[2017年 43.2日]
- ⑤ 手術から転院・退院までの日数
  - i) 全体 22.4日 [2017年 29.3日]
  - ii) 地域連携パス利用者 19.9日 [2017年 24.5日]
  - iii) 地域連携パス除外者 25.8日 [2017年 41.3日]
- ⑥ 総治療日数 (地域連携パスを利用し、当院から回復期リハビリ病院を経て在宅復帰が達成できるまでの期間)  
95.6日 [2017年 87.9日]

## 9.産婦人科

分娩数 90 うち 経膈分娩 69 帝王切開術 21 (帝王切開率 23%)  
婦人科良性疾患に対する手術 72  
婦人科小手術 9  
婦人科悪性疾患に対する手術 9  
産科小手術 5

分娩数、手術数ともに大きな変動はない。

産科においては助産師が熱意をもって周産期管理をおこなっており、婦人科診療とともに限られた環境の中で最大限、市立病院としてしての役割を果たしていきたい。

## 10. 泌尿器科

- ・再手術症例 1例 TUR-BT 後出血 (1.2%)
- ・術中合併症 1例 TUR-P 時被膜穿孔
- ・手術創感染 なし
- ・前立腺生検後再入院 1例 前立腺炎 (1.3%)
- ・膀胱鏡検査後発熱 なし

## 11. 脳神経外科

急性期脳梗塞 t-PA および 機械的血栓回収療法指標

年齢	病名1	病名2	DWI-ASPECTS	O2D	D2N	D2P	D2R	P2R	TICI	NIHSS前	NIHSS後 t-PA後	NIHSS カテ後	mRS後	ICH
76	BAD	ATBI(lt M1 stenosis)	9	139	101					4	2		1	(-)
67	rt M3 occlusion	af	8	49	105					24	12		4	(-)
82	rt M1 occlusion	ATBI (rt IC stenosis)	6	115	69					20	13		3	(-)
94	rt M1 occlusion	af	8	40	70					14	14		5	(-)
95	rt M1 occlusion	paroxysmal af	9	92	111					21	21		5	(-)
73	rt M2 occlusion	ATBI	9	105	56					7	3		1	(-)
82	lt.M1 occlusion	af	10	45	70					22	2		1	(-)
74	lt M4 occlusion	lt IC stenosis	8	0	68					4	2		1	(-)
81	lt.M2 occlusion	af	8	95	68					20	7		2	(-)
88	rt M2 occlusion	af	7	33	49					25	5		4	(-)
88	rt.coronal radiata infarction	small vessel disease	10	51	49					6	3		1	(-)
42	rt ICA dissection		7	30	57					15	15		4	(-)
81	rt M1 occlusion	rt. ICA stenosis	8	84	44	81	194	113	2 b	10	12	12	5	(-)
83	rt ICA top occlusion	af	8	480	(-)	128	228	100	3	14	(-)	0	0	(-)
80	rt ICA top occlusion	af	6	75	(-)	108			0	16	16	16	5	(-)
87	rt. IC occlusion	paroxysmal af	7	123	(-)	194			0	26	26	26	5	(-)
82	lt.M1 occlusion	paroxysmal af	11	30	92	196	267	71	3	21	21	12	1	(-)
53	lt.M1 occlusion	lt. M1 stenosis	8	110	159	94	222	128	3	4	4	3	1	(-)
77	rt M1 occlusion	af	7	72	40	63	186	123	2 b	10	10	6	2	(-)

t-PA 単独治療最終 mRS 0~2(good recovery) : 50%

機械的血栓回収率 TICI:2B 以上 : 71%

機械的血栓回収治療最終 mRS 0~2(good recovery) : 57%

O2D : onset to door(min.)

D2N : door to needle(min.)

D2P : door to puncture(min.)

D2R : door to recanalization(min.)

P2R : puncture to recanalization(min.)

## 12. 麻酔科

麻酔科管理症例数 2,307  
 (全手術症例数 3,849)

麻酔別分類	症例数
全身麻酔	1,550
全身麻酔＋硬膜外（脊髄くも膜下）麻酔	306
硬膜外麻酔＋脊髄くも膜下麻酔	15
硬膜外麻酔	1
脊髄くも膜下麻酔	381
その他	54
緊急症例数	292
重大な医療事故症例数	0

## 13. 歯科口腔外科

1. 入院患者数 486人
  - 男 213人
  - 女 273人
2. 平均年齢 40.83歳
3. 平均入院日数 4.69日
4. 入院内訳 486症例
  - 予定入院 433症例
  - 予定外入院 44症例
  - 救急医療入院 9症例
5. 術後合併症
  - 知覚鈍麻（入院、外来） 5側